

2019.6.13

報道関係各位

アストンマーティン・ジャパン

Press Release

アストンマーティンがセント・アサンで最初の車両を生産

- アストンマーティン第二の生産拠点で車両の生産を開始
- 2020 年上半期にセント・アサンでフル操業を目指す
- アストンマーティン DBX の公道テストは継続



2019 年 6 月 12 日、セント・アサン(英国)：

アストンマーティン初の SUV モデル、アストンマーティン DBX の最初の量産前モデルの生産がアストンマーティン・ラゴンダの第二の生産拠点で始まりました。

アストンマーティンは、ウェールズ州セント・アサンの元英国国防省の 3 つの“スーパーハンガー”(格納庫)を含む 90 エーカーの敷地全体を、最先端の生産拠点に改築することを 2016 年初頭に発表しました。セント・アサンは、アストンマーティン・ラゴンダにとって第二の工場となります。

英国におけるアストンマーティンの継続的な投資の一環として建設されるセント・アサン工場は、現在までに 200 人の雇用を創出し、その数は最大 550 人に拡大すると予想されて



ASTON MARTIN

います。この投資の直接の結果として、サプライチェーンと地元企業全体で、さらに 3,000 人の雇用が生み出される見込みです。

セント・アサン工場は、ブランド初の SUV モデルであるアストンマーティン DBX の専用工場となります。SUV セグメントは、ラグジュアリー・マーケットにおいて急成長を遂げています。さらに、この工場はアストンマーティン・ラゴндаの“電動化の拠点”となり、ラゴнда・ブランドの車両の生産も行われることが昨年発表されました。

ウェールズ州の郊外で昨年から開始された DBX の公道テストは、今後も継続して実施されます。ラグジュアリーSUV は、都会だけでなく、路面状態が悪いオフロードでも乗員が快適に過ごすことができます。DBX は、過去数ヶ月にわたり、極寒の北極圏からニュルブルクリンクのノルドシュライフェ(北コース)に至るまで、あらゆる過酷な環境下で試験が繰り返されてきました。

アストンマーティン・ラゴнда社長兼最高経営責任者(CEO)のアンディ・パーマーは、次のように述べています。「私たちの第二の生産施設がついに車両の生産を開始しました。これは、アストンマーティン・ラゴндаにとって記念すべき瞬間です。2020 年の第 1 四半期には、フル操業するための準備も整っています。弊社の副社長兼最高生産責任者であるキース・スタントン率いる施設および生産チームが素晴らしい仕事をしてくれたおかげで、フル操業が開始されるほぼ 1 年前に、予定通りに、そして当初の予算内で工場の準備を整えることができました。」

アストンマーティン DBX は、2019 年末に発表される予定です。

こちらのプレスリリースに関する画像は下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-wNdDChv0Ua>

###

詳しい情報は、ウェブサイト(www.astonmartin.com または www.astonmartin.com/media) から入手可能です。

ブランド・コミュニケーションチームの [Twitter](#) も開設されています。



ASTON MARTIN

Aston Martin Japan の [Twitter](#) も開設されていますので、併せてご確認くださいませ。

アストンマーティン・ソーシャルメディア・チャンネルは、以下のリンクからアクセスできます。

- [Facebook](#)
- [Twitter](#)
- [Instagram](#)
- [Google+](#)
- [Pinterest](#)
- [YouTube](#)
- [LinkedIn](#)
- [Vine](#)

メディア問い合わせ先:

コスモ・コミュニケーションズ
アストンマーティン PR チーム
今野 博文
Tel: 03-6434-5839
M: 090-6180-0281
hirofumi_konno@my-z.co.jp